

## いきいき協働事業評価シート

団体用

## ○ 協働事業の概要

記入年月日 令和 3年10月 日

事業名	スポーツ&カルチャーフェスティバル in 小平
団体名	東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト
担当課名	文化スポーツ課
事業期間	令和 3年 7月 4 日～令和 3年 9月 5 日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

① 地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

オリンピック・パラリンピックの理念であるダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包括)を体験してもらうため、「いきもののつながりワークショップ」「昔あそび」「ボッチャ」など小平の子供たちや障がいのある方が参加できるイベントを行った。これには延べ130人以上の子供たちが参加して、小平の自然を理解し守ること、お年寄りや障がいのある方などの繋がり大切さなどについて学んだ。

「私の一押し競技」には、市内の小学生169人が独創的な絵画を描いて参加し、オリンピック・パラリンピックの意義や競技について自分で考える機会を持つことができた。

「オリンピック・パラリンピックの歴史展示」「環境を考える展示」「いきもののつながり展示」などには、500人以上の来場者があり、オリンピック・パラリンピックの精神、環境問題の知識などを学ぶことができた。

またスポーツ&カルチャーフェスティバル最終日には、小平市民活動支援センターあすびあと共に「共に生きる社会を考える」というテーマでパネルディスカッションを行い、共生社会のあり方について参加の市民と意見交換しお互いの理解を深めることができた。

② 団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

小平市内のいろいろな団体に現に参加し活動しているメンバーが多数集まり、全員で展示や体験、パフォーマンス等の内容について考え企画したので、多彩で多様なプログラムを円滑に実施することができた。特に小平市内のアーティストやミュージシャンを一堂に集めたパフォーマンスショーは、小平では初めての試みとして行われた。パフォーマンスのライブ配信もメンバーの協力で独自に実施することができた。

③ 協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

十数回にわたる実行委員会や、数十回開かれた展示チーム、パフォーマンスチーム、広報チームのミーティングにメンバーや関係団体、市のご担当が随時出席して、企画の内容や会場との交渉、準備の段取り等について協議し、アド

バイスをいただいたので、円滑な事業の実施が可能になった。

④改善提案がありますか。

ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包括)を考える機会を恒常的に作ることが大切である。子供たちや障がいのある方が気軽に参加できるイベントやワークショップなどを毎年行う必要がある。

自由記載欄